こども未来部長目標

● こども未来部長　　　町田　真治　（まちだ　しんじ）

● こども未来部の仕事

こども未来部は、こども政策課、こども支援課、こども福祉課、青少年課、保育幼稚園課の5課で構成され、子育て家庭への経済的支援、子どもに関する相談、放課後児童対策、保育園・幼稚園等に関すること、就学前の障害児が通う施設及びこども支援センターの運営などを行っています。

● こども未来部の令和2年度の目標

こども未来部は、子どもの最善の利益を実現するために、大きく変わりつつある子育て環境への対応を踏まえ、「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、放課後児童対策、親子の絆を深める支援、配慮の必要な子どもたちへの支援に関する事業などをすすめます。

● 目標達成に向けた重点事業

№	事業項目	事業の概要	事業の目標	年度末の目標達成度合
1	放課後児童対策事業	新たな民設民営児童クラブの開設や施設の老朽化、狭隘化への対策として、学校施設の活用も進めることで、放課後児童クラブの定員拡大を行います。	・令和3年度から開設する民設民営児童クラブ2か所の選定を実施します。 ・小学校の転用可能教室等を一時的に借用するなど、教育委員会との連携を図ることで、児童クラブの受入れ児童数を増やしていきます。	・民設民営児童クラブ2か所（南小学校区、所沢小学校区）の事業者を選定し、新たに80人分の定員を確保しました。 ・富岡児童クラブと椿峰児童クラブにおいて、小学校の転用可能教室を一時的に借用することにより、新たに80人分の定員を確保しました。
2	子ども・子育て支援事業計画の推進に関する事業	・健康推進部及び教育総務部との連携により、本とふれあうことで親子の絆を深め、孤立しがちな親子へ支援を行うため、「ところっこ親子ふれあい絵本事業」を実施します。 ・教育・保育の需給バランスを調整するため、既存施設の活用に加え、保育所1園を新設します。	・約2,200組の親子に対し、健診等の際に読み聞かせと絵本の交換チケットの配布を行い、図書館や子育て支援施設で交換していただくよう案内します。 ・令和3年度から開設する保育所1園の事業者選定や認可・確認手続きを実施します。	・4か月児健診の対象者に絵本の交換チケットを配布し、感染症対策に配慮した上で図書館や子育て支援施設において読み聞かせを行い、822組の親子への絵本の交換により、施設の利用につなげました。 ・所沢地区に開設する保育所の事業者を選定し、認可・確認手続きを経て、新たに60人分の定員を確保しました。

3	配慮の必要な子どもたちへの支援に関する事業	・こども支援センター発達支援事業において、相談支援、子どもの特性に応じた通所支援、研修・啓発などの地域支援を行います。 ・日常的に医療的なケアを必要とする児童の在宅生活を支援するために、障害児通所支援事業所に対し補助を行います。	・こども支援センター発達支援事業の利用者満足度（アンケートで「満足している」と回答する人の割合）について、100％を目指します。 ・支援に必要な設備や備品の購入費用の補助を行います。	・こども支援センター発達支援事業の利用者満足度（アンケートで「満足している」と回答する人の割合）は93.5％でした。 ・医療的ケア児の受入れ施設に対し、支援に必要な設備や備品の購入費用の補助を行い、医療的ケア児の受入れ支援を図りました（補助金額：300,000円）。